

新春のメッセージ

グローバル戦略としての海外M&A

アーンストアンドヤング・トランザクション・アドバイザリー・サービス(株)
代表取締役社長 ケネスG.スミス



ケネスG.スミス

米国のアーンスト・アンド・ヤングにて日系クライアントの北米投資を多数サポート。その後、日本のアーンスト・アンド・ヤングに異動。25年以上にわたりトランザクションアドバイザリーおよび経営コンサルティング業務に従事。エネルギー業界、ハイテク・通信業界を中心に、数多くのM&A案件、経営統合・再編プロジェクトをリード。

2012年の世界経済は、深刻化する欧州債務危機、先進国の経済低迷、新興国市場の成長の鈍化により引き続き厳しい年となりました。大統領選挙前の米国において、経済政策の行方を見通すことができずに企業が積極的な投資に二の足を踏んだことや、「財政の崖」問題が市場に不安感を与え、経済の動向に負の影響を及ぼしました。

国際通貨基金(IMF)が発表した世界経済見通しによると、13年の世界経済成長率は3.6%で、7月予想より0.3ポイント下方修正しています。世界経済は回復基調にあるものの、回復力は弱まり、本年も欧州を中心に引き続き厳しい経営環境となることが予測されています。

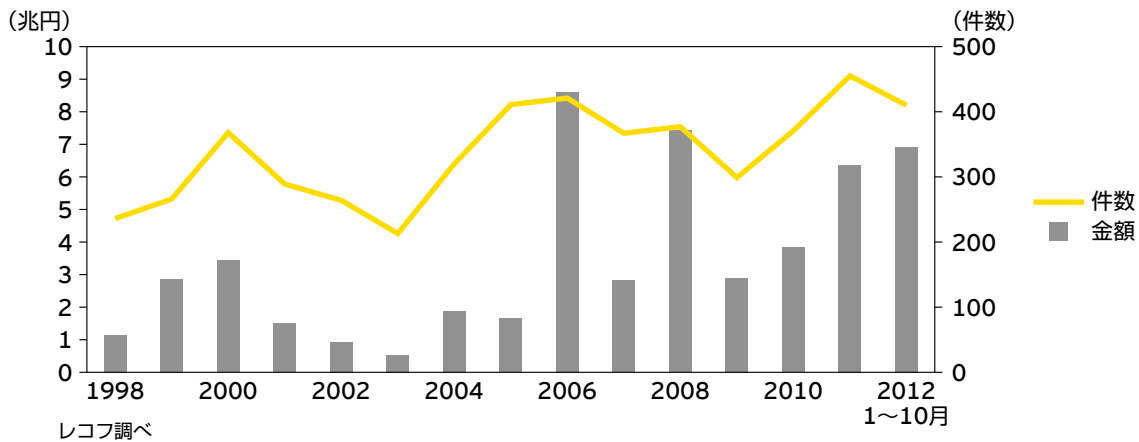
アーンスト・アンド・ヤング(EY)が半年ごとに実施している「キャピタルコンフィデンス調査」*1によると、78%の回答者が依然として世界経済回復の兆候は見られないと回答し、

66%の回答者が景気低迷は今後1年以上続くと予測、M&A実施に対する意欲は半年前の調査時点の31%から25%に減少しました。世界の経営者は経済の不透明感の中ではコスト削減や利益改善に重点を置き、M&Aに対してより慎重になっていることが示されました。

このような状況の中、12年1~10月の日本企業による海外企業のM&Aは、前年同期比10.2%増加の410件、金額は前年同期比54.8%増加の6兆9,102億円となり、件数・金額ともに年間実績で過去最高を更新する可能性も出てきました<図1参照>。新聞の一面を飾るような大企業による大型M&A案件だけでなく、これまで国内でのみ事業を展開していた中小企業が海外進出に着手し、グローバルM&A市場において存在感を高めています。これは、歴史的な円高と少子高齢化による国内市場の縮小を背景に、日本企業が生き残りのためにグローバル戦略を

*1 グローバル企業の経営層に対して行う、今後の経済見通しやM&Aへの意識に関するアンケート調査。12年10月発表の第7回調査は41カ国1,500人以上の経営者が回答

▶図1 日本企業による海外M&A金額および件数の推移



経営課題として重要視し、本格化させてきた証しと言えます。

特に、高い成長率により中産階級の人口が増加しているインドや東南アジア諸国連合（ASEAN）の国々は、経済成長期においては個人消費の増加によるボリュームゾーン・ビジネス、成熟期に移行後は、より付加価値の高いブランドビジネスを展開することが期待できます。国内市場が縮小している日本企業にとっては、引き続き有力な進出先と言えます。

電力供給不足への不安感も、多くの製造業が工場の海外移転を検討するきっかけとなっています。さらに、アジアの経済・金融の中心であるシンガポールにアジア全体を統括する持ち株会社を設置するなど、近年は企業の買収だけでなく、さまざまな角度からの進出が増加しています。海外からの企業進出を促進する優遇策をとっている国もあり、長期化する円高と併せて日本企業の海外進出を後押ししています。

一方で、海外での企業経営はリスクも高く、進出先から撤退してしまう企業も見受けられます。ビジネス慣習の違い、インフラの未整備、言葉の壁、現地財閥のネットワーク、異なる規制や法制度、会計・税務への対応は常に大きな課題であり、これらに対し、事前に十分に準備し柔軟に対応することが、海外M&Aを成功させる鍵と言えます。また、買収後の統合を効率よく実行することも重要な課題です。

私どもアーンストアンドヤング・トランザク

ション・アドバイザー・サービス(株)は、世界中に約9,500人のトランザクション関連のプロフェッショナルを擁し、財務アドバイザー業務、評価業務、デューデリジェンス業務、事業再編業務などのM&Aに関わる各種サービスを提供しております。海外の案件に対しては、世界140カ国16万7千人のEYのネットワークを駆使し、各国の規制や実情に精通した海外事務所のメンバーを含めたクロスボーダーチームを結成し、クライアントを支援いたします。M&Aの可能性を検討する段階から、買収後の統合を完了するまでのそれぞれの局面で適切なシナリオを戦略に組み込み、クライアントのご期待に添ったM&Aのご提案をしております。

複雑で高度な専門性が必要となる会計・税務について特に強みを持っており、さらに、一貫したメソドロジー、優れたサービスクオリティ、卓越した人材に対しても、高い評価をいただいております。

不確実性が高く変化の激しい環境下で、付加価値の高いサービスを提供し、クライアントのM&Aの成果を発揮し、企業価値を最大限に高めていくことが私どもの使命と考えております。特に海外M&Aなど難易度の高い案件を検討される際こそ皆さまの企業のグローバル戦略にご協力できればと考えております。

この新しい年が皆さまにとりまして、より良き年になるよう心より祈念いたしまして、私からの新年のごあいさつとさせていただきます。